

関係各位

集団かぜの発生について

本日、市内では今シーズン初めて、集団かぜによる学級閉鎖の措置が実施されることが判明しました。概要は次のとおりです。

1 本日判明した集団発生施設（午後3時現在）

施設名 （施設長名）	所在地	防疫措置をした学級等の状況				防疫措置	措置期間
		学年・学級	在籍者数	患者数	うち 欠席者数		
名古屋市立 高針台中学校 （鈴木 桂子）	名東区勢子坊 三丁目801	1年A組	32	19	15	学級閉鎖	10/24

主な症状：発熱（37.5～39.0℃）、せき、咽頭痛

2 感染症発生動向調査によるインフルエンザの発生状況（名古屋市） -市内の1定点医療機関当たりのインフルエンザ患者報告数-

期間	名古屋市		愛知県 （本市を含む）	全国
	今シーズン	昨シーズン同期		
39週（9/25-10/1）	0.10	0.07	0.11	0.21
40週（10/2-10/8）	0.13	0.23	0.22	0.21
41週（10/9-10/15）	0.20	0.19	0.16	0.17

注1：1定点医療機関当たりのインフルエンザ患者報告数：インフルエンザ定点医療機関からの1週間の総報告数÷インフルエンザ定点医療機関数（市内：70医療機関）

注2：現在、愛知県内ではインフルエンザの流行入りはしていません。

「1」を超えると流行入り、「10」を超えると注意報発令、「30」を超えると警報発令の基準となっています。

3 昨シーズンの集団かぜの施設別発生状況（平成28年10月13日～平成29年7月3日）

	休校 （園）数	学年閉鎖校 （園）数	学級閉鎖校 （園）数	計
保育園	0	0	0	0
幼稚園	1	9	29	39
小学校	0	57	324	381
中学校	0	6	64	70
高等学校	0	0	3	3
その他	0	2	21	23
総計	1	74	441	516

※平成28年10月から3月の各月初発の集団かぜの患者検体よりA香港型が分離されています。

4 予防と治療について

インフルエンザの感染経路には、感染した人の咳やくしゃみによる飛沫感染と汚染されたドアノブ等を介した接触感染があります。

・予防するには・・・

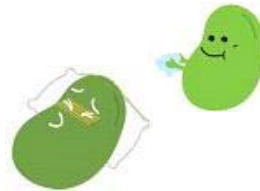
- 人ごみ等への不要不急な外出を控え、帰宅時には手洗い・うがいをしましょう。
- バランスのよい食事、適度な運動、十分な睡眠をとり、体調を整えましょう。

・早めの治療を・・・

- かかったかなと思ったら、早めに医療機関を受診しましょう。
- 安静にして、十分な睡眠をとり、水分を補給しましょう。

・感染を広げないために・・・

- 感染を広げないためにも、「咳エチケット」を守りましょう。



～『咳エチケット』とは～

- ◎咳・くしゃみの際にはハンカチやティッシュなどで口と鼻を押さえ、周りの人から顔をそむける。
- ◎使用後のティッシュは、すぐにフタ付きのゴミ箱に捨てる。
- ◎症状のある人はマスクを正しく着用し、感染防止に努める。



5 その他

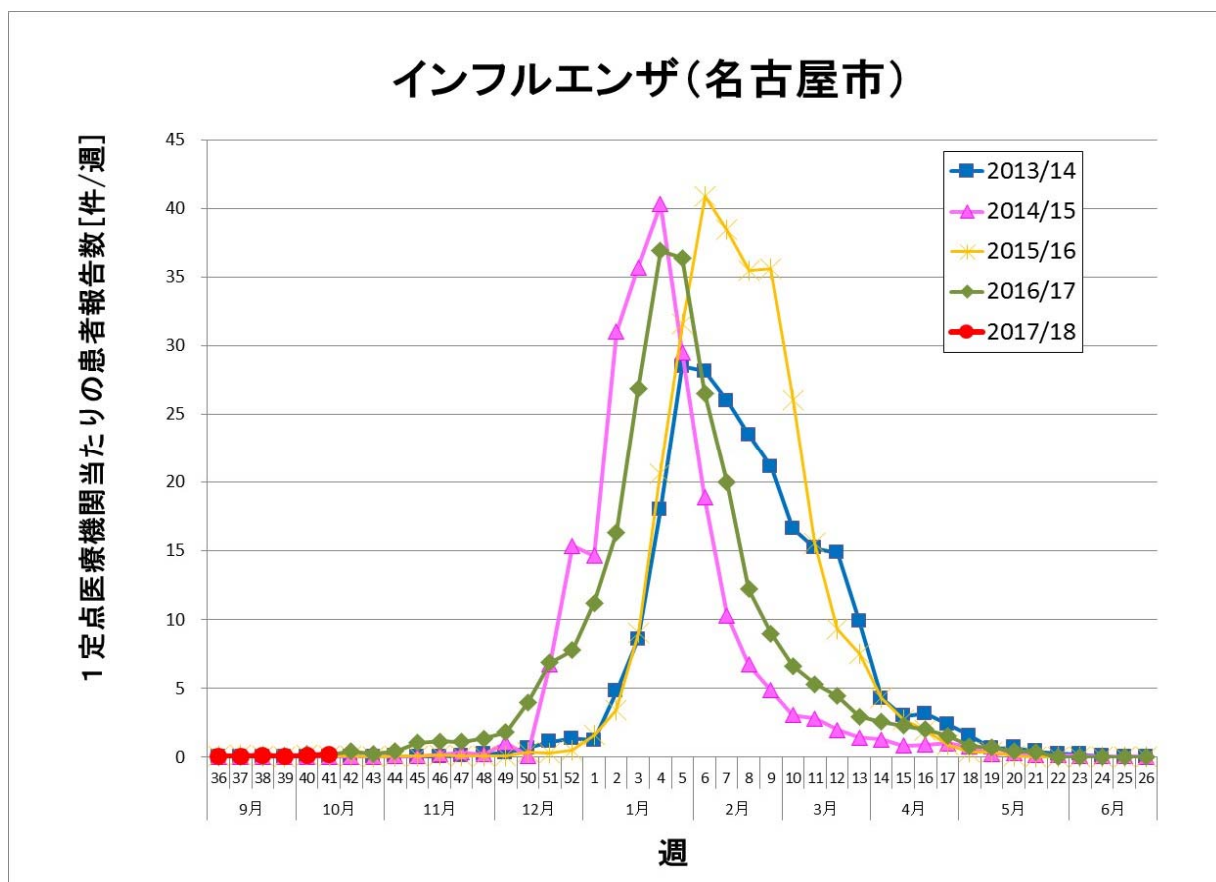
- (1) 本市のインフルエンザ流行状況等は、名古屋市公式ウェブサイトの下記URLにも情報を掲載しております。ご参照ください。

<http://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000007875.html>

- (2) 全国のインフルエンザ流行状況等は、下記の厚生労働省のURLをご参照ください。

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/houdou.html>

1 名古屋市における1定点医療機関当たりのインフルエンザ患者報告数



2 集団かぜによる学級閉鎖等の実施状況 (過去3シーズン)

		2014/15	2015/16	2016/17
初発		H26. 10. 28	H27. 10. 6	H28. 10. 13
最終年月日		H27. 4. 30	H28. 4. 12	H29. 7. 3
措置施設数	保育園	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	幼稚園	47 (2)	62 (6)	39 (1)
	小学校	355 (0)	592 (0)	381 (0)
	中学校	38 (0)	102 (0)	70 (0)
	高校	3 (0)	5 (0)	3 (0)
	その他	1 (0)	6 (0)	23 (0)
	計	444 (2)	767 (6)	516 (1)

() 内は休校の措置をとった施設数の再掲